

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 6,7限他	教室名	402
担 当 教 員	藤本光輝 浜田広幸 小坂将史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚士国家試験出題科目の中でも高配点分野を中心に、過去問題や傾向分析資料に基づいて学習する						
《成績評価の方法と基準》						
別途規定(内規)参照						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業は資料を配布する。またPCスライドを用いる場合がある。 参考図書:言語聴覚士テキスト 第3版 一 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
事後学習として、授業内で実施される資料を適宜見直して、知識の定着に努めて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
本講義を通じてまず各科目の出題傾向を把握し、次に過去問や模擬試験の解答を通じて、自分の得意科目/苦手科目を知ってもらい苦手科目の克服を目指すよう心がけて下さい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上) 正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	解剖学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上) 正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	生理学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上) 正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	内科学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上) 正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床歯科医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上) 正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	臨床歯科医学の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床歯科医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔外科学の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声・言語・聴覚医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	聴覚系の構造機能病態等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声・言語・聴覚医学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	聴覚系の構造機能病態等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	認知・学習心理学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声・言語学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	音声学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声・言語学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	言語学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉・教育分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	社会保障制度等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉・教育分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚障害学総論分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士の職務内容等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚障害学総論分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害診断学等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語・高次脳機能障害学(失語症)分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	失語症の定義等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語・高次脳機能障害学(失語症)分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	言語症状と失語症候群等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語・高次脳機能障害学(失語症)分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	評価・訓練等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語・高次脳機能障害学(高次脳機能障害)分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	神経心理学の基本概念等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語・高次脳機能障害学(高次脳機能障害)分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	各種高次脳機能障害の病巣・症状・検査等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語・高次脳機能障害学(高次脳機能障害)分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	訓練・援助等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	総論・評価等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	指導・訓練等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声発語・嚥下障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	吃音等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声発語・嚙下障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	構音障害等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声発語・嚙下障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	嚙下障害等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	小児聴覚障害等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	成人聴覚障害等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害学分野の五肢択一国家試験形式問題に対し(全体の六割以上)正当肢を選択することができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 過去問題 	言語聴覚士国家試験の概要や出題基準および該当科目の過去問題について確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳等の出題傾向と重要キーワードについて学ぶ		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			